

お花が いっぱい 大好きが いっぱい

幼稚園だより

ホームページ <https://www.aen.arakawa.tokyo.jp/youchien/nippori/>

荒川区立日暮里幼稚園
令和 7年度 5月号
園長 野口 真由美



サイネリアの花のように

園長 野口 真由美

新緑のまぶしい季節がやってきました。園庭にはたくさんのこいのぼりが泳ぎ、少し前まで花びらを舞い散らせていた桜の木も、今では気持ちのよい風に若葉を揺らしています。

入園式後の数日、年長児が年少児の朝の身支度の手伝いをしました。年長児にとっても初めての経験です。「名前は?」「どうして泣いてるの?」「お支度、手伝ってあげたら笑ったよ!」など、年長児なりに年下の友達との関わりについて、様々なことを感じたり考えたりしているようでした。



先日、始業式や入園式の会場、廊下に飾ったサイネリアの花鉢を園庭の太鼓橋の下に並べました。園内を華やかにしてくれたサイネリアを園庭の花壇に植え替える前に、子どもたちが遊びの中で自由に使えるように『日暮里花屋さん』にすることになったのです。日暮里花屋は大盛況!子どもたちは大切そうに花を摘むと、砂で作ったケーキの飾りにしたり、色水作りの材料にしたりしていました。

花言葉を調べたところ、サイネリアには、「喜び」「明るい笑顔」という意味があるそうです。実は、「望みある悩み」「悩める喜び」というように、「悩み」にまつわる花言葉もあるようですが、寒い時期に花を咲かせる姿から、悩みの中にも希望がある様子を連想させることに由来しているそうです。

子どもたちは今、緊張しながらも安心できる場所や好きな遊びを見付け、新しい環境に少しずつ慣れようとしています。サイネリアは、このような時期にぴったりな希望に満ちた花だと思いました。

子ども達が毎日元気に登園し、笑顔いっぱいで園生活を送れるよう教職員一同全力で取り組んでまいります。これから保護者の皆様には、本園の教育活動にご理解、ご協力、そしてご支援いただきますようお願い申し上げます。



5月の保育のねらい

- 【年少組】
 - ・教師や友達に親しみを感じながら、遊んだり関わりを楽しんだりする。
 - ・簡単な身の回りのことを自分でやってみようとする。
 - ・身近な自然に触れながら、戸外で教師や友達と体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- 【年中組】
 - ・やりたい遊びを見付けて、伸び伸びと楽しく遊ぶ。
 - ・戸外の自然に触れながら、教師や友達と体を動かして遊ぶ楽しさを感じる。
- 【年長組】
 - ・友達と一緒に興味のあることに関わって遊ぶことを楽しむ。
 - ・戸外で伸び伸びと体を動かす心地よさや楽しさを感じる。
 - ・身近な自然に自分から関わったり、遊びに取り入れたりすることを楽しむ。



お知らせ

◇いちごタイム

地域の未就園児の皆さんに園に来ていただき、幼稚園で楽しく過ごします。ポスターやホームページでお知らせしますので、お知り合いの方やご近所の小さいお友達をお誘いください。

◇教育相談

教育センターの心理専門相談員 小井田 夏美 先生、鶴田 侑未 先生による教育相談が、毎月1回あります。お子さんのことや子育てで気にかかることなど何でも気軽にお話をしてみてください。面談を希望される方は、事前に職員室にお申し込みください。

◇教育実習生の紹介

5月12日(月)から5月23日(金)まで、東京家政大学家政学部 児童学科4年生 池田 雪華(いけだ きよか)さんが教育実習を行います。ご理解とご協力をお願いします。





《年少もも組》

4月から始まったときどきわくわくの幼稚園生活。初めは緊張していた子どもたちでしたが、少しずつ笑顔も見られるようになってきました。先生が「ももぐみさーん」と呼ぶと、「はい!」と元気に返事をする姿もあります。

園内探検では、みんなで探検カードを持って園内を回りました。幼稚園にはいろいろな部屋があることを知ったり、園庭遊具の約束を聞いたりしました。先生たちからカードにシールを貼ってもらって「やったー!」と嬉しそうにしていました。

ぶどう組のお兄さんお姉さんのお手伝いもあり、朝の支度や帰りの支度を自分でやろうと頑張る姿が見られます。これから子どもたちの「やってみたい!」という気持ちを大切にしながら、いろいろなことを経験できるよう、援助していきます。

《年中みかん組》

保育室が2階になったことや憧れのみかん組になったこと、オレンジ帽子や名札を身に着けることなどで進級したことを実感し、様々なことをやってみようとする姿が見られています。

進級したことで、扱える遊具や用具の幅も広がりました。先日、学級全体で新しい遊具(中型積み木やスクーターなど)の使い方を確認しながら遊び始めると、それがとても嬉しく、繰り返し遊ぶ姿が見られています。また、園庭にダンゴムシやカタツムリがいることを見付け、「育ててみたい!」と虫かごの環境を整えようとしたり、自然に関わろうとしたりする姿も見られています。

この一年、みんなで過ごすことの楽しさをたくさん経験してほしいと願っています。みかん組になり、友達関係や行動範囲が広がるなかで、葛藤も経験しながら、「みんなと一緒にだと楽しいな」と思えるように、援助していきます。

《年長ぶどう組》

進級して1か月、憧れのぶどう組になってからも大好きな友達と一緒に体を動かしたり、園庭の草花を集めて色水遊びをしたりして、毎日元気いっぱい遊んでいます。ピカピカの水色の名札とカラー帽子を身に着けて、昨年度の年長児から引き継いだ係の仕事に張り切って取り組む姿も見られています。誕生会では、司会の係を自分で決めたり、会場の装飾や誕生児の友達にプレゼントする冠を作ったりして準備を進めました。新しい活動や、年長ならではの役割に張り切って取り組むぶどう組の子どもたちです。進級の喜びや年長組として張り切る気持ちを十分に認め、一人ひとりの自信につなげながら、これからも様々な遊びや活動に取り組んでいきます。

戸外に出ると気持ちの良い季節なので、友達と一緒に体を動かしたり、自然に触れたりして遊ぶことを十分に楽しんでいきたいと思います。



